

ごあいさつ

日本精神衛生会は、精神障害に対する一般の偏見、無知に由来する社会的不利と戦うことを目的に、明治35年(1902)に設立された「精神病者慈善救済会」に端を発した歴史のある団体です。時代とともに、その活動は精神医療・保健・福祉が抱える問題の重要性を、一般社会に訴える活動にまで広がりを見せており、この「メンタルヘルスの集い」はその活動の一端です。

私たちは日頃、意識する、しないに関わらず、様々なメディアに接し、情報を得て生活しています。

メディア、特にテレビ、ラジオ、新聞、映画、小説、コミックなどのマスメディアは、社会に対して大きな影響力を持っています。そして社会全体のメンタルヘルスにも影響を与え、その向上のために重要な役割を果たしているといえましょう。しかし、一方で精神障害を抱える人々や社会のマイノリティに対する偏見や差別を助長し、さらに固定化することもあることを忘れてはなりません。今回のメンタルヘルスの集いでは、最初にメディアを通じて重要なメッセージを発信している講演者による特別講演をお聞きします。そしてメディアに関わるさまざまな立場の発表者(情報を伝えるジャーナリストやメンタルヘルス関連ワーカー、精神障害者の家族、支援者)に、それぞれの課題や思いを率直に語っていただき、メディアの在り方、付き合い方について議論するフォーラムを行います。このような構成によって、私たちはこのフォーラムを、社会の人々それぞれがメディアとどのように関わっていくか、それによって何が実現されるのかを皆様とご一緒に考える場としたいと考えています。奮ってご参加ください。

公益財団法人日本精神衛生会 理事長 小島卓也

公益財団法人 日本精神衛生会

事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-1-10
メディアビル3F
電話 03-3518-9524 (FAX兼用)
メールアドレス z-seisin@dc4.so-net.ne.jp
ホームページアドレス https://www.jamh.gr.jp

会場地図



有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町
2-5-1
有楽町マリオン11階
電話 (03) 3284-0131

公益財団法人 日本精神衛生会

■ 日本精神衛生会のめざすもの ■

公益財団法人日本精神衛生会は、国民の皆様のメンタルヘルスに対する関心を高め、理解を深めることによって、心身の健康を守り、向上を図るとともに、適応障害を含む精神障害の予防に努め、さらに、精神障がい者の医療および福祉の改善を促進することをめざして、さまざまな活動を行っています。

■ 本会の主な事業と活動 ■

- ・広報誌「心と社会」「こころの健康シリーズ」等精神保健福祉関係図書の発行
- ・メンタルヘルスの集い(日本精神保健会議)の開催
- ・全国各地での精神保健シンポジウムの開催
- ・国際精神保健福祉活動への協力

■ 入 会 ■

本会は精神医療関係者、心理学関係者、保健・福祉・看護関係者、教育関係者、ボランティア、当事者とその家族、一般市民などから構成されています。

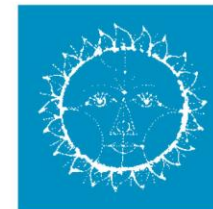
本会の目的、事業の趣旨に賛同される方は、下記のいずれかの会員として入会してください。

普通会员 年会費 6,000円(本会出版物毎号1部送付)
施設会員 年会費 50,000円(本会出版物毎号3部送付)
法人会員 年会費 100,000円(本会出版物毎号4部送付)

■ 会員の特典 ■

広報誌「心と社会」(年4回)、「こころの健康シリーズ」など
本会出版物の無料送付
その他、精神保健福祉関連情報の提供

メンタルヘルスの集い (第38回日本精神保健会議)



メディアとメンタルヘルス

～伝える、受け取る～

日 時	令和6年3月2日(土) 10:30~16:00(開場10:00)
会 場	有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)
特別講演	「自己表現」で目指す精神障害のある人の生きづらさや社会的抑圧からの解放 原 義和 映像ジャーナリスト 映画「夜明け前のうた」監督
フォーラム	メディアと私たち: 伝える、受け取る
参加費	無料(事前予約制)
予約方法	ホームページ 日本精神衛生会 検索

QRコード▶



又は、お名前、ご住所、電話番号を書いて
FAXで 03(3518)9524 に送信

主 催 公益財団法人日本精神衛生会

KEIRIN
競輪補助事業

<https://keirin.jp>
<https://jka-cycle.jp>



参加対象

一般市民、精神保健福祉関係者、教育関係者他

開催趣旨

日本精神衛生会は、メンタルヘルスの集い（日本精神保健会議）を毎年春に朝日ホールで開催しています。

この会議は、「こころ」をめぐる重要な問題について、その都度テーマを掲げて、精神保健福祉の関係者、教育関係者、さらに一般市民、当事者が広く参加し、ともに考え、討論して、今後の課題を話し合う集まりです。

後援

厚生労働省（申請中）

東京都

社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

社会福祉法人NHK厚生文化事業団

公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団

公益財団法人明治安田こころの健康財団

公益財団法人ヤマト福祉財団

公益社団法人日本精神保健福祉連盟

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会

公益社団法人日本精神神経学会

公益社団法人日本精神科病院協会

一般社団法人東京精神科病院協会

公益社団法人日本精神神経科診療所協会

日本精神衛生学会

一般社団法人日本精神科看護協会

公益社団法人日本精神保健福祉士協会

一般社団法人日本臨床心理士会

一般社団法人日本作業療法士協会

特定非営利活動法人メンタルケア協議会

きょうされん

一般社団法人日本児童青年精神医学会

一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会

一般社団法人日本自殺予防学会

プログラム

10:30~10:45 **主催者挨拶**
小島 卓也 公益財団法人日本精神衛生会理事長
来賓挨拶
厚生労働省（依頼中）

10:45~12:00 **特別講演**
原 義和
映像ジャーナリスト、映画「夜明け前のうた」監督
**「自己表現」で目指す精神障害のある人の
生きづらさや社会的抑圧からの解放**

12:00~13:15 **休憩**

13:15~15:50 **フォーラム**
メディアと私たち：伝える、受け取る

シンポジスト

勝又陽太郎

東京都立大学人文社会学部准教授
自殺対策に関わる立場から

木原 育子

東京新聞編集局特別報道部 記者
新聞報道、取材記者の立場から

北野 陽子

NPO法人ぶるすあるは代表
支援者の立場から

岡田久実子

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長
精神障害者家族の立場から

コーディネーター

林 直樹

西ヶ原病院

山田 奈緒

毎日新聞社会部 記者

15:50~16:00 **所感・閉会の辞**

市川 宏伸

公益財団法人日本精神衛生会理事

総合司会

柳田 多美

杏林大学保健学部教授

特別講演

講師プロフィール

はら よしかず

原 義和 氏

映像ジャーナリスト
映画「夜明け前のうた」監督



1969年、愛知県名古屋市生まれ。テレビ映像、企業のPR映像、博物館の展示映像などを手掛けつつ、福祉を中心にドキュメンタリーのディレクターとして映像作品を世に送り出してきた。2005年より沖縄を拠点にドキュメンタリー番組の企画制作を行う。沖縄の精神医療の現場を取材し、映画「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者」（2020年文化庁映画賞／文化記録映画優秀賞）を制作。

主な制作番組

「戦場のうた～元“慰安婦”の胸痛む現実と歴史」（2013年琉球放送／2014年日本民間放送連盟賞テレビ報道番組最優秀賞）、「インドネシアの戦時性暴力」（2015年TBS報道特集・第53回ギャラクシー賞奨励賞）、「Born Again～画家 正子・R・サマーズの人生」（2016年琉球放送／第54回ギャラクシー賞優秀賞）、「消された精神障害者」（2018年Eテレ ハートネットTV／貧困ジャーナリズム賞2018）など。著書に「消された精神障害者」（高文研）、編書に「画家 正子・R・サマーズの生涯」（高文研）。

講師からのメッセージ

社会的抑圧や暴力を受けている人、あるいは障害がある人の日々の葛藤や苦悩などが、自ら映像を発信することで、それを変革させる可能性があるということを考えています。映像による自己表現は、自分がどのように生きたいと考えているのか、その心の内を整理し、気づきを与えられ、その映像ビジョンに自らの人生を向けていく発展性を秘めています。それはすなわち、他者に奪われていた人生のハンドルを自身の手に取り戻すプロセスです。個人による映像表現と発信が、実は新たな人生を創り出し、解放の道へと導く社会的な鍵となることを、実例を紹介しながら提起したいと考えています。



参加費は無料です。ホームページ [日本精神衛生会](#) 検索、QRコード又はFAX：03(3518)9524でご予約下さい。